

生徒指導部だより (7)

～ 水谷 修先生の講話がやっと実現しました ～

去る1月31日(火)に、震災、台風で二度にわたって延期となった水谷 修先生の薬物乱用防止講話が行われました。多くの生徒が水谷先生の話を楽しんで待っていたと思いますが、みなさんの期待以上のすばらしい講話を聞くことが出来たと思います。講演後に書いた感想文には、生徒の皆さんの水谷先生への純粋な想いが沢山込められていました。早速、水谷先生に送りたいと思います。

生徒の感想文から

- 今日の帰り道、私は空を見ながら帰りたいと思います。どんなにきれいな空なのか、どんなに青い空なのか。私は今日、空を見ながら帰ります。水谷先生の話を実際に聞いて、自分は昼の人間なんだ、と思いました。そして死ぬまで一生昼の人間でありたいと思いました。(3年女子)
- 水谷先生が保護者の方に「私を愛しているならタバコをやめて」と言ってやめてくれますか、という質問に対して手をあげている方はいませんでした。私のお爺ちゃんは、結構タバコを吸う人だったんですけど、お婆ちゃんの「早死にしちゃうから」という一言でタバコをやめました。自分の周りに一人でも自分を心配し、愛してくれる人がいるということはこの時間で学ぶことが出来ました。(2年女子)
- 今日自分も生きています。沖縄戦で子どもを守るために自分の命を犠牲にした人々、暴走族仲間を警察の追跡から逃れさせようとして自分の命を犠牲にした者、教え子を守ろうと津波に立ち向かって亡くなった教師、死ぬべき人ではないのにこの世を去った人々がいる。今自分たちが生きてることが本当に幸せだ。だからちょっとしたことで、「死にたい」とか軽々しく言うてはいけないと思う。(2年男子)
- マサフミさんの話で、シンナーがどれほどやめられなくなってしまうか、その話はとても印象に残った。シンナーを始めたことで、命も骨も奪われてしまったこと、たった一人のお母さんのマサフミさんへの想い、死後のマサフミさんを最後まできれいに洗ってあげた水谷先生の想い、すべてが心に残った。シンナーを始めたことでこんな生き方になるなんて、昼の世界で生きている私には全く予想もできず、知らない世界だった。(2年女子)
- アイさんの話を聞いて私は、アイさんに「ありがとう」って言いたくなった。「大丈夫ですよ。あなたの話を聞いて、夜の世界から足を洗った人、入らないと決めた人はたくさんいますよ。私を含めて。」って伝えたいと思った。
先生の講演を聞いたからには、私も先生の生徒。「自分のやった始末は、自分でつけろ」この生徒の条件も、しっかりやっていこうと思う。本当にキレイなものを見て、先生のくれた沢山の話を胸に、頑張っ生きていく。(1年女子)
- 水谷先生の話聞いて最初に思ったことは、自分たちの世界ではあまりにも「非現実的」な「現実」だと思いました。自分たちが普通に暮らしているこの「昼」の世界の裏側「夜」の世界ではその「非現実」があたり前になっていると思うと、自分たちが暮らしてきたこの世界は、ほんの一面に過ぎないってことなのではないでしょうか。そう思うと、今まで何気なく過ごしてきたこと全てが偽りに思えてきてしまい、背中に恐怖が走ります。(1年男子)
- 「誰かを幸せにするために生きている」という言葉は、これから私が生きていく上で、この言葉にどう向き合っていくかを考え、どうしたいのかということも考えていくことができたらしいと思います。(2年女子)